

事業所名 児童デイサービス・アニマートさのよしみず

公表日

令和8年 3月 10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		活動に合わせて環境を整備し、工夫して取り組んでおります。	限られたスペースを安全面に考慮しながら、有効に活用して参ります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		日々の状況に合わせて、ご利用者様の安全に考慮して支援して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3			バリアフリーではありませんが、必要に応じて職員が補助に入り対応させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			安全に心地良く過ごせるよう、環境を整えています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		ご利用者様状態等に対して、静かに過ごせる環境を提供しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		ケース会議やミーティング等でご利用者様の様子を情報共有しております。	日々のミーティング等で、目標設定と振り返りを行い、利用者様についての話をする場面を増やして参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者様から頂いた貴重なご意見を職員間で共有し、業務改善につなげております。	評価シートによるご意見を日々の業務に反映できるよう職員間で共有し、改善につなげて参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		毎日のミーティング等で、業務改善に向けた話し合いをしている。	活動や支援の見直しを行い、業務改善につなげより良い支援に努めて参ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		外部研修や法人内での研修へ参加している。	研修を積極的に参加し、研修内容を職員間で情報共有し支援に活かしている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			面談時にアセスメントを行い、利用者様や保護者様のニーズが適切に反映されるよう努めて参ります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別支援計画案を基に支援会議を行い、支援内容を検討し共通理解を図っております。	ご利用者様、保護者様のニーズに反映できるように努めて参ります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援前に必ずミーティングを行い、情報共有をしています。	職員間で共有し、より良い支援に努めて参ります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			活動内容が固定しないように組んで参ります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		必ず支援前にミーティングを行い、支援内容や役割分担を確認している。	支援前にミーティングを行い、支援内容や役割分担を決め、チームでより良い支援が行われるように努めて参ります。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援記録を記入し、その日のご利用者様の様子や支援を振り返り、職員間で共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の支援後に支援記録を記入し、ご利用者様の様子や支援を振り返り、職員間で情報共有し検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関 や保護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		送迎時に学校での様子をお伺いし、職員間で情報共有しながら支援につなげております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		相談支援事業所より情報を提供していただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3			現在、対象者はおりませんが、必要に応じて連携がとれるように努めて参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3			個人情報の配慮をしながら、必要に応じて検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		お迎え時やリトムにお子様の様子をお伝えさせていただいております。	今後も職員間で情報を共有し、理解に努めて参ります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			職員が参加した研修の内容などをお伝えし、対応に活かしていただけるよう保護者様にお伝えし、支援方法を共通理解できるように努めて参ります。	
保護者への 説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			ご契約時にご説明させていただいております。安心してご利用していただけるよう皆様に分かりやすい説明を心掛けて参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		面談の際、支援内容の説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			随時、ご相談を承っております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3		保護者様同士で交流する機会を設け、保護者様同士で意見交換できるように努めて参ります。	今後も、保護者同士で交流する機会を設け、支援していけるよう努めて参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		迅速かつ適切に対応できるよう努めて参ります。	管理者が中心となり職員と連携し、迅速に対応できるように努めて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			毎月活動内容のお便りを発行しております。お子様の様子や連絡事項をお知らせしております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			個人情報につきましては、今後も厳重に対応して参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			個々の特性に合わせて、情報伝達の方法を工夫して参ります。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	事業所内に各種マニュアルを掲示し、訓練を実施しております。	各種マニュアルを職員や保護者様に分かりやすく周知・説明していけるよう工夫して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	年に4回の避難訓練を実施しております。	年に4回の避難訓練を実施しております。また、年に1回消防署の方による消火訓練を実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し、全職員に周知しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	医師の指示書をご持参いただき、指示書に基づいた対応が出来るよう、全職員に周知しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	職員間で共有し、研修・訓練を実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		ご契約時にご説明させていただいております。安心してご利用していただけるように努めて参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、事故防止再発防止に努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	虐待防止委員会を中心として、事業所内でも定期的に研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		必要に応じて同意をいただき、個別支援計画書に反映させていただきます。その都度、ご説明させていただきます。	